

◆ 巻頭言

今こそ女性が活躍できる時代 — 明るく前向きに挑戦

北城 恪太郎

中国、インド、ブラジルなどの国々が力強く成長する中で、日本経済は20年近く停滞している。国内市場が伸びない中で、多くの企業が海外市場での成長をめざしており、一部の企業では外国人の採用を増やすなどして、グローバル人材の獲得に力を入れている。さらに、労働人口が減少する中で、多くの経営者が女性の登用にも積極的に取り組み始めている。しかし、現実には経営幹部として活躍する女性の数は少ない。これまで企業社会が男性中心に運営されてきたことが女性の登用を妨げてきたが、こうした状況も徐々に変わりつつあり、女性が管理職として、また経営者として活躍できる場は確実に広がっている。

一方で、リーダーとしての仕事に挑戦しようとする女性がたくさん出てこなければ女性の登用は進まない。誰にでも活躍のチャンスはある。しかし、その機会が訪れたときに、これを好機と捉え挑戦するか否かは本人次第である。私は若くして昇進したわけではないが、ある難しい仕事を担当する機会が得られ、これに挑戦したことにより経営者としての道が拓かれた。また、チャンスが訪れたときにその好機を生かすためには、日ごろの準備も大切であり、そのために先人の経験、言葉から学ぶことも多い。これはと思う言葉は手帳に書き写して参考にしてほしい。そして活躍の場が与えられたときには、ためらうことなくリスクを取って挑戦してほしい。ただし、男性に負けまいと考えると、肩肘張って無理な努力をする必要はない。自分の経験でも無理は長く続かない。自然体で前向きに挑戦すれば、自ずと道は拓けてくる。

私が管理職になってから、常に社員に語りかけてきたことは、「明るく、楽しく、前向きに」仕事に取り組んでほしいということであった。女性が活躍できる機会が広がっている今こそ、多くの女性に明るく、前向きにリーダーへの道へ挑戦してほしいと思う。



PROFILE

北城 恪太郎
(きたしろ かくたろう)

日本アイ・ビー・エム(株)最高顧問。1967年日本アイ・ビー・エム(株)入社。93年代表取締役社長に就任。99年代表取締役会長に就任。IBMアジア・パシフィック・プレジデントを兼務。03年経済同友会代表幹事に就任。07年から終身幹事。10年国際基督教大学理事長に就任。11年日本女性学習財団評議員就任。